

仙台市障害者等保健福祉基礎調査 報告書

平成 23 年 6 月

仙台市

【目次】

仙台市障害者等保健福祉基礎調査概要	4
-------------------	---

(調査結果)

アンケート調査

身体障害者本人	7
---------	---

1 基本的な属性について	8
2 住環境について	14
3 所得状況について	21
4 日常生活について	23
5 就労状況について	28
6 社会参加について	35
7 健康・医療について	42
8 福祉サービスについて	48
9 相談機能について	59
10 災害対策について	71
11 身体障害者本人の自由回答	83

知的障害者本人	85
---------	----

1 基本的な属性について	86
2 住まいのことにについて	92
3 お金のことにについて	94
4 生活のことにについて	95
5 仕事のことにについて	97
6 社会参加のことにについて	104
7 福祉サービスのことにについて	109
8 相談のことにについて	117
9 災害がおこったときのことにについて	126
10 知的障害者本人の自由回答	129

知的障害者の家族	133
----------	-----

1 基本的な属性について	134
2 住まいと暮らしについて	139
3 所得状況について	142
4 日常生活について	144
5 就労状況について	149
6 社会参加について	154

7	健康・医療について	158
8	福祉サービスについて	164
9	相談機能について	174
10	災害対策について	182
11	知的障害者の家族の自由回答	191
心身障害児の家族		195
1	基本的な属性について	196
2	日常生活について	206
3	社会参加について	214
4	健康・医療について	219
5	福祉サービスについて	224
6	相談機能について	233
7	災害関係について	242
8	心身障害児の家族の自由回答	245
精神障害者本人（通院）		247
1	基本的な属性について	248
2	住環境について	255
3	所得状況について	257
4	就労状況について	259
5	社会参加について	267
6	健康・医療について	272
7	福祉サービスについて	275
8	相談機能について	284
9	災害対策について	291
10	精神障害者本人（通院）の自由回答	296
精神障害者本人（入院）		299
1	基本的な属性について	300
2	精神障害者本人（入院）の自由回答	314
精神障害者の家族		315
1	基本的な属性について	316
2	日常生活について	321
3	就労状況について	322
4	健康・医療について	326
5	福祉サービスについて	329
6	相談機能について	333
7	災害対策について	339

8	精神障害者の家族の自由回答	346
難病患者本人		349
1	基本的な属性について	350
2	住まいと暮らしについて	358
3	所得状況について	361
4	日常生活について	362
5	就労について	367
6	社会参加について	374
7	健康・医療について	378
8	福祉サービスについて	387
9	相談機能について	393
10	災害対策について	401
11	難病患者本人の自由回答	407
発達障害（児）者の家族		411
1	基本的な属性について	412
2	日常生活について	421
3	就労状況について	422
4	社会参加について	426
5	健康・医療について	430
6	福祉サービスについて	434
7	相談機能について	441
8	災害関係について	448
9	発達障害（児）者の家族の自由回答	451
市民		455
1	基本的な属性について	456
2	市民の自由回答	492
聴き取り調査		
1	身体障害者関係団体	497
2	知的障害者関係団体	505
3	精神障害者関係団体	514
4	難病患者家族関係団体	521
5	小児慢性疾患家族団体	529
6	地区・社会福祉協議会関係者	538
資料編		543

「仙台市障害者等保健福祉基礎調査」

概 要

1. 調査の目的

この調査は、次期「仙台市障害者保健福祉計画」及び第3期「仙台市障害福祉計画」の策定にあたり、市内に在住する障害児（者）等の実態や保健福祉サービスの利用動向及び利用意向等を調査し、また、市民の障害児（者）に対する理解の状況等を把握し、計画策定の基礎資料とするために実施した。

2. 調査対象および回収状況

(1) アンケート調査

調 査 対 象 者	配布数	有効回収数	有効回収率
身体障害者本人	1,457 名	842 名	57.8%
知的障害者本人	691 名	364 名	52.7%
知的障害者の家族	500 名	269 名	53.8%
心身障害児の家族	500 名	225 名	45.0%
精神障害者本人（通院）	998 名	564 名	56.5%
精神障害者本人（入院）	286 名	162 名	56.6%
精神障害者の家族	348 名	149 名	42.8%
難病患者本人	498 名	291 名	58.4%
発達障害（児）者の家族	420 名	108 名	25.7%
市民	996 名	497 名	49.9%
総 合 計	6,694 名	3,471 名	51.9%

(2) 聴き取り調査

- 身体障害者関係団体：6 団体
- 知的障害者関係団体：7 団体
- 精神障害者関係団体：5 団体
- 難病患者家族関係団体：6 団体
- 小児慢性疾患家族団体：6 団体
- 地区・社会福祉協議会関係者：6 団体

3. 調査方法

(1) アンケート調査

郵送による調査票回収方式

(2) 聴き取り調査

関係団体・関係者と集団面接方式

4. 調査内容

(1) アンケート調査

基本的な属性	住まいと暮らし
所得状況	日常生活
就労状況	社会参加
健康、医療	福祉サービス
相談機能	災害対策
これからの福祉サービス	自由記述

(2) 聞き取り調査

障害者当事者・難病患者関係団体調査項目	
暮らし・生活基盤について	地域社会における障害理解、社会参加について
地域社会における施設の役割、行政との協働について	団体の役割について
子育てに関する不安感について（小児慢性疾患家族団体のみ）	
障害者施設関係団体調査項目	
暮らし・生活基盤について	地域社会における障害理解、社会参加について
地域社会における施設の役割、行政との協働について	
社会福祉協議会や民生委員など地域で障害者の生活を支える団体等調査項目	
暮らし・生活基盤について	地域社会における障害理解、団体活動について
団体の役割について	

5. 実施期間

(1) アンケート調査

平成22年12月

(2) 聞き取り調査

平成23年2月3日、4日、10日（3日間）

6. 調査機関

調査主体：仙台市健康福祉局障害企画課

調査実施：株式会社サーベイリサーチセンター 東北事務所

7. 本報告書の見方

各設問中の【SA】は単数回答を表し、回答者が選択肢から1つだけ回答する質問であることを示している。また、【MA】は複数回答を表し、回答者が2つ以上の回答をすることができる質問であることを示している。

図表中のnとは、その設問項目の対象者数である。

%値は、少数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表記してある。従って必ずしも(単数回答の)合計が100.0%にならないことがある。

回答者が2つ以上の回答をすることができる質問では、回答件数の合計は回答者数(100.0%)を超える。

参考資料(身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者の推移)

区 分	平成 20 年度末	平成 21 年度末	平成 22 年度末
身体障害者手帳	28,977	29,787	30,245
1 級	9,676	9,998	10,175
2 級	5,171	5,180	5,177
3 級	4,912	5,022	5,037
4 級	5,904	6,147	6,304
5 級	1,865	1,952	2,039
6 級	1,449	1,488	1,513
療育手帳	5,798	6,097	6,388
A	2,587	2,672	2,743
B	3,211	3,425	3,645
精神障害者保健福祉手帳	5,458	5,792	6,164
1 級	1,361	1,462	1,511
2 級	3,000	3,139	3,354
3 級	1,097	1,191	1,299

(仙台市障害企画課資料)